

井原市教育委員会 7月定例会会議録【公開用】

1. 招 集 平成29年7月12日(水)
2. 開 会 平成29年7月19日(水) 10時00分
3. 閉 会 平成29年7月19日(水) 10時25分
4. 会議の場所 503会議室

5. 出席又は欠席した委員

出席委員	教 育 長	片 山 正 樹
	教育長職務代理	藤 井 秀 彦
	委 員	奥 田 隆 夫
	委 員	佐 藤 和 代
	委 員	西 田 友 美

欠席委員 なし

6. 会議に出席した職員

大舌教育次長 倉田学校教育課長 三宅生涯学習課長 藤井文化課長
一安スポーツ課長 岩本教育総務課長補佐

7. 教育長が告示した議題

附議事項

【報 告】

報告第22号 平成29年度岡山県学力・学習状況調査の結果について

【議 案】

議案第12号 平成30年度使用井原市立高等学校教科用図書採択について

議案第13号 井原市幼稚園教諭採用試験委員会委員の委嘱について

議案第14号 井原市立小学校及び中学校の通学区域の一部改正について

議案第15号 井原市社会教育委員の委嘱について

8. 傍聴者 なし

9. 議 事

(1) 開 会

- ・片山教育長が開会を宣言

定刻がまいりましたので7月の定例会を開会します。今日は、1学期の終業式ということで、明日から8月30日までの42日間の夏休みが始まる訳ですが、子どもたちが事故なく夏休みを過ごしてくれたらと思います。ニュースでも流れていますが、静岡県吉田町は来年の夏休みは16日間になるそうです。エアコンを設置しているということもありますが、教職員の勤務の軽減が大きなねらいで、これには、まだまだ賛否両論あるようです。これが、今後、全国に広がる可能性を感じています。

(2) 前回会議録の承認・公開について

【片山教育長】 前回会議録の承認、公開ということで事務局から説明をお願いします。

【岩本課長補佐】 前回6月定例会の会議録につきましては、既にご確認をいただいております。本会議終了後にご署名をいただきますので、よろしくお願いいたします。なお、前回定例会でご承認いただいたとおり、報告第16号から21号、及び議案10号は、人事案件等のため非公開としております。

【片山教育長】 事務局から報告のあったとおり承認することとしてよろしいでしょうか。

— 全会一致で承認 —

【片山教育長】 では、そのようにお願いいたします。

(3) 教育長の報告事項

【片山教育長】 私の方で資料を用意させていただいております。

— 資料により、「アリとキリギリス」の本当の教訓、学校訪問の教育委員参加に対するお礼、夏休みの行事 など —

(4) 議 事

【報 告】

□報告第22号 平成29年度岡山県学力・学習状況調査の結果について

まず最初に、報告第22号平成29年度岡山県学力・学習状況調査の結果についてを議題とします。事務局より説明をお願いします。

【倉田課長】 それでは、報告第22号平成29年度岡山県学力・学習状況調査の結果についてを説明させていただきます。

— 議案読み上げ 平成29年度岡山県学力・学習状況調査の結果について説明 —

【片山教育長】 この件につきまして、ご質問はありませんか。

【奥田委員】 中学校の2年生の英語が全てにおいて平均を下回ったということについて、何か原因があるのでしょうか。

【倉田課長】 ここで初めて英語が出てきて、初めて県全体の実態が明らかになったという状況です。今まで同等なもので比較ができていなかったのも、このような現実気が付いていなかったということです。その中でも、井原市が低かったという結果を受け、何かしらの手を打っていかなくてはならないと考えていますが、まだ、十分な分析までには至っていません。

【佐藤委員】 実施日が18日というのは、市内の中学生は4月の17日から28日の週で実施されたということなんですか。

【倉田課長】市の調査は、学校ごとに別々の日程で実施されました。この調査は、4月1日から6月末までのどこかで受けてくださいというもので、それまでは、内容もオープンにできない調査になっていて、その中で、井原市は、4月の17日から28日の間で実施したということなんです。

【佐藤委員】例えば、4月17日に芳井中学校で実施し、19日に別の井原中学校が同じ問題をするというこのなんでしょうか。最近は塾などで学校の違う生徒同士が一緒になると思うのですが、問題の内容が漏れるということは考えられないですか。

【倉田課長】今までの調査も1週間の枠を設けて実施していましたので、同じ状況だと思いますが、それで、何か問題になったということはありませんでした。

【藤井職務代理】結果表の見方ですが、評価の欄で白い三角は目標値より上、「≡」は目標値と比べてどの範囲だったら、使われているのでしょうか。

【片山教育長】目標値の±5ポイント以内なら「≡」それ以下なら「▼」、5ポイントより上回っていたらなら「△」が使用されているようですね。小学校は概ね目標値を達成していますが、中学校は2年生に課題がありますね。来年の全国学力テストで同じような結果になる可能性がありますね。この学年は6年生の時もあまりよくなかったと聞いています。これが、中学生になってどこまで回復しているかで、見方も変わってきます。

【藤井職務代理】この結果だと、あまり変わっていないということでしょうか。

【倉田課長】県からは、ある学年に課題があるというのであれば、その学年に特化した指導をしていくようにと指導を受けています。

【片山教育長】英語の今後の対策について、8月31日の会議でそういう話し合いがあるのでしょうか。

【倉田課長】必ずしなければならない状況だと思っています。

【奥田委員】どういうメンバーで行われるのですか。

【倉田課長】各校学力向上を中心的に進めていただいている教務主任や研究主任あたりのメンバーに集まっていただきます。その時に県のアドバイザーに来ていただき、分析のやり方やそれ以降の対応のやり方を指導していただく計画にしています。

【藤井職務代理】英語の設問について、問題の出し方・内容が、これまで、市内の中学校が出してきた問題と異質なものというか、雰囲気は違っていたのでしょうか。

【倉田課長】市独自で今までやっていたものは、ベネッセの試験をしていたのですが、このたびから、県に合わせて東京書籍ということで、問題傾向が変わったのかもしれませんが、井原市だけではなく、県下全体が悪かったというところを考えると、それだけのことではないのかなと思います。

【片山教育長】単語も書けなかった子がたくさんいたと聞いていますので、小学校の漢字を覚えるのと同じで、基礎の定着部分の力もつけていかないといけないと思います。

【西田委員】子どもの様子を見てみると、小学校のときは、ALTの先生に来ていただいて、

とても楽しく英語に親しみをもって取り組んでいるなど思っていたんですけど、中学生になったとたん英語を教科として学ぶ難しさを感じているように見えます。

【片山教育長】話す・聞くを小学校ではしっかりやっていますが、書く活動は少ないのではないのかと思います。

【倉田課長】受験の英語科目が英検などもOKになっていくと聞いていますので、そういった力もしっかり付けていってやらないといけないと思っています。

【藤井職務代理】小学校で英語が教科になったら、読んだり書いたりということも入ってくるのでしょうか。

【倉田課長】はい。詳細が分かり次第、お知らせをしたいと思います。

【片山教育長】ご質問がないようですので、報告第22号平成29年度岡山市学力・学習状況調査の結果については、ご承認いただけますでしょうか。

— 全会一致で承認 —

【片山教育長】それでは、報告第22号は承認することといたします。

【議案】

□議案第12号 平成30年度使用井原市立高等学校教科用図書採択について

— 教育委員会会議規則第15条第1項第6号の規定により非公開 —

— 全会一致で承認 —

□議案第13号 井原市幼稚園教諭採用試験委員会委員の委嘱について

— 教育委員会会議規則第15条第1項第4号の規定により非公開 —

— 全会一致で承認 —

【片山教育長】それでは、議案第13号は承認することといたします。

□議案第14号 井原市立小学校及び中学校の通学区域の一部改正について

【片山教育長】次に、議案第14号井原市立小学校及び中学校の通学区域の一部改正についてを議題とします。事務局より説明をお願いします。

【倉田課長】それでは、議案第14号井原市立小学校及び中学校の通学区域の一部改正についてを説明させていただきます。

— 議案読み上げ 井原市立小学校及び中学校の通学区域の一部改正について説明 —

【片山教育長】提案のありました議題に対するご質問はありますか。

【佐藤委員】野上小学校区でない子が、家庭の事情や今の学校の環境になじめないなどの理由で、野上小学校を選ぶことができるようになるのですが、中学生になるとまた元の学区に戻るようになるのでしょうか。野上小学校の子と一緒に井原中学校に行くことはできないのでしょうか。

【倉田課長】現在のところ、中学生になったら、元の学区に戻るようになります。

【片山教育長】特別な理由があれば、学区は変更できますので、別の学区の子でも井原中学校へ行くことは可能です。

【倉田課長】今現在でも、そういった理由で学区を変えている子は数名います。

【奥田委員】転入学でもいいのですね。4月1日でなくても、学年の途中からでもいい訳ですね。遠い子の場合、通学に保護者の送り迎えが当然必要になりますよね。

【佐藤委員】来年度からされるとして、何人くらいを見込まれていますか。

【倉田課長】これは、分かりませんね。正直なところ、幼稚園に来ていただきたいと考えています。今のままですと、来年度、幼稚園が1人になる予定です。1人だったら保護者の方もいろんなことを考えられるのではないかと思います。

【佐藤委員】以前、山野小学校に来ませんかというチラシを見たことがありますが、野上小学校もこのようなことを考えていますか。どのような方法で周知をされますか。

【倉田課長】本日、承認をいただいた後からの動きになります。

【佐藤委員】選択肢として知っていて選択しないということがあっても、知らなかったので選択できなかったということが無いようお知らせをお願いします。

【大舌次長】野上のまちづくりでもこれまで、いろいろ話をしてきました。本日、この件を承認いただいたら、地域としても各方面にお知らせをしていこうと考えています。

【西田委員】私は青野に住んでいて思うのですが、一般の方は、青野と野上を同じような感覚でとらえられていて、今回の件は「なんで野上だけなの。青野は大丈夫なの」と思われる方がいるのではないのでしょうか。

【片山教育長】今は野上が、一番緊急性が高いので、野上への対応となったのですが、いずれ青野からもそういった声が上がってくれば、範囲を広げていかざるを得ないと思います。青野はまだいらっしゃるんですけど、野上の現状を調べますと幼稚園から下の子がいないんです。

【佐藤委員】野上には市営住宅や民間のアパートがあるのですか。

【大舌次長】市営住宅があります。

【藤井職務代理】どのくらい、埋まっているんですか。

【大舌次長】7割から8割程度でしょうか。

【藤井職務代理】その中で小学校・幼稚園に通っている世帯はどのくらいあるのですか。

【大舌次長】市営住宅以外からが何人かで、住宅から小学校・幼稚園に通っている世帯がほ

とんどですね。

【藤井職務代理】市営住宅があるから、まだ野上小学校の児童数もある程度確保できているということなのではないでしょうか。野上のマイナスイメージばかりでなく、野上だからこういう教育ができるというものが打ち出せたらいいんですけど、そういう意味では、大変だとは思いますが、地域の努力がかなりいると思いますね。

【奥田委員】野上小学校は15人ですよ。これが、仮に15人を下回ってきた場合、職員の構成はどのようになるのですか。

【倉田課長】14人以下になりますと、教頭は、教頭をしながら担任もしていただくようになります。以前もこのような経験を野上小学校は経験をしているのですが、今のままだと、来年度から教頭は担任をしなくてはいけない状態です。この制度によって、何人かが野上小学校へ来てくだされば、教頭も単独で確保できるので、小学校としても助かるのではないかと思います。この制度によって、複式が解消するとは思っていません。

【藤井職務代理】今日、承認されたら、市はどのタイミングでどのような方法で周知をされるのですか。また、地域や学校からもメニューを出していくようになるのでしょうか。

【倉田課長】まずは、教育関係に広めていかななくてはならないと考えています。校園長会で連絡をさせていただいて、校園長会から広げていっていただいき、広報も使うようになります。

【藤井職務代理】募集をかける際に特色もPRするのがいいと思います。いずれにしても、募集をかけるタイミングでしょうね。

【倉田課長】幼稚園の募集は例年、1月の頭から20日ごろまでですが、この制度の周知を含めて募集を早めて、人数の把握を早めにしておかないと、他の学校・園に迷惑をかけることになります。要するに、野上に何人か流れることになりますので、他の学校・園の人数が減ることになります。

【藤井職務代理】幼稚園の場合、他の園もそんなに多いわけではありませんからね。

【佐藤委員】もし、野上幼稚園の人数が増えなかった場合は、何年後に何人くらいになるのでしょうか。

【倉田課長】来年度、幼稚園が1人になり、そこから後がいませんので、どんどん小学校の児童が卒業するだけ減っていくようになります。現在、15人が、6年後には1人になるということです。

【佐藤委員】4・5・6年生の割合が多いのでしょうか。

【倉田課長】現在の2年と6年が多いですけど、今の6年生4人が卒業して1年生に2人が入ってくるので、来年は13人の予定です。そこから後は減るだけです。

【佐藤委員】市外からも可能なのでしょうか。

【倉田課長】住民票さえ移してもらったら、市外からでも可能です。

【佐藤委員】市内で児童の移動があると減った学校は、困りますよね。それだったら、思い

切って外から来てもらうといいですね。例えば、いい市営住宅があったら市外から呼ぶことができますね。

【藤井職務代理】「野上ぐらし始めませんか？」のような、どうですかね。

【大舌次長】まちづくりとしては、そこをずっとねらっておりまして、市外から来た協力隊の人たちに野上で「こんな暮らしをしています」、「大阪から帰って来てこんな活動をしています」、「小学校はこんなに楽しいです」というようなホームページを作って発信をしています。住宅についても、地域で空き家調査をしております、空き家登録をもらってそちらに来てもらおうという活動をしています。後は魅力ある学校運営ができればいいと考えています。

【佐藤委員】私がしているので、里親はどうかと思います。にぎやかになりますよ。

【大舌次長】いい提案ですね。まちづくりでも提案してみます。

【佐藤委員】発達障害の児童でも受け入れは可能ですか。

【倉田課長】どの学校も受け入れていますので、例外なく受け入れます。

【奥田委員】地域にとって、小学校の存続は大きな課題だと思います。障害のあるお子さんにとって、野上のような自然に囲まれ、ゆったりと時間が流れていく環境の中で生活できるということは、ある意味、魅力でもあるので、そういったところをPRできればと思いました。

【佐藤委員】放課後児童クラブへは、何人行かれていますか。

【大舌次長】児童のほとんどが放課後児童クラブへ行っています。幼稚園児以上でしたら受け入れます。

【片山教育長】他にご質問がないようですので、議案第14号井原市立小学校及び中学校の通学区域の一部改正については、ご承認いただけますでしょうか。

— 全会一致で承認 —

【片山教育長】それでは、議案第14号は承認することといたします。

□議案第15号 井原市社会教育委員の委嘱について

— 教育委員会会議規則第15条第1項第4号の規定により非公開 —

— 全会一致で承認 —

以上で議事は終了しました。

(5) その他

【片山教育長】 その他として、委員のみなさんから何かございますか。

確認事項

- 7月臨時会を7月31日月曜日午後3時から、403会議室で開催 —
- 8月定例会を8月18日金曜日午後1時30分から、文化財センターで開催 —

- 各担当課長から教育委員会平成29年8月行事予定表により行事予定を説明 —

(6) 閉 会

【片山教育長】 以上を持ちまして、7月定例会を閉会とします。委員のみなさま、本日はありがとうございました。